

20大建第1353号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 殿

大洲市長 大森 隆雄



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

平成20年9月19日付け、国道企第37号をもって依頼のありました標記の件につきまして、別紙のとおり報告します。

担当

大洲市建設農林部建設課

管理第2係 藤田

Tel.0893-24-2111 内線 211

- 公共交通機関が充実している都市部と異なり、一動作に伴う移動距離が大きい地方部にあっては車社会に頼らざるを得なく、毎日の生活の中で、車を切り離した生活は考えにくい。

したがって、道路がその地域で毎日生活する住民にとって、安全で安心できるものでなくてはならず、全国一律的な構造基準ではなく、地域の実情に合った柔軟な道路構造の採用により、既存道路を有効活用し、予算の重点配分による早期の整備を実現し、実効性のある道路行政が求められる。

- たとえば、当市における（主）県道小田河辺大洲線にあっては、市町村合併による旧河辺村と市の中心市街地を結ぶ幹線道路であるが、整備率は極端に低く、旧村役場と大洲市庁間は1時間を要する現状で、地域住民にとって30分圏域での整備が強く求められる。

肱川治水対策により事業推進が図られている山鳥坂ダム建設により埋没する当該路線は、中山間地域を通ることから治水対策に併せ重点的に整備を行い、災害に強く安全性の高い道路整備が早急に求められている。

- また、国道197号においては、大洲市を經由して高知県と大分県を結ぶ広域ネットワークを構築する道路であり、前述した県道もこれに接続し、交流拠点相互の連結と生活圏域間を連絡する主要な道路であるが、地域によっては渋滞により道路機能が著しく低下している。

大洲市内にあっては、地域道路が変則的に接続し、かつ、八幡浜大洲地区総合運動公園進入路がなす交差点部では、公園への進入車両による渋滞がしばしば発生し支障をきたしている状況である。

当公園は、平成29年度に開催される愛媛国体において、少年男女のソフトテニスが行われることが内定しており、公園侵入レーンの新設（三車線化）による渋滞緩和対策が望まれる。

- さらに、国道378号においては、宇和島市から海岸部に沿って伊予市にいたる道路で、伊方町に設置されている四国電力伊方原子力発電所と間接的につながっており、非常時における緊急輸送を担う重要な道路である。

しかし、市内櫛生から沖浦にかけては、道路切面が急峻なうえ地質がもろく、再三にわたり法面の崩落による通行制限を余儀なくされ、災害に対し脆弱さを露呈している状況で、部分的な隧道の施工や洞門による災害に対し安全で信頼性の高い道路となる対策が講じられることが求められる。

- 本年5月には道路特定財源等に関する基本方針が閣議決定され、一般財源化を具体化させるための検討作業が進められているが、道路整備が未だ不十分である地方にとって、真に必要な道路整備が自治体の裁量により強力に推進されるような財源・制度の創設をお願いしたい。

- 地域が自立するための産業・経済基盤の確立とともに、災害時に対応する緊急輸送や救急医療のために必要な安全で信頼性の高い道路ネットワークの整備を確実に進めてほしい。